

2018年版 速修テキスト2 財務・会計

標記書籍内容に誤りがありました。読者の皆様にご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫びいたします。恐れ入りますが、下記の内容へ変更のうえご利用いただきますようお願いいたします。（下線部が変更点です）。

【正誤表】

1. 第1部 P.103～4 連結財務諸表の作成ほか

財務諸表等の用語に関する規則変更により本書記載の用語を下記のとおり訂正いたします。お読み替えのうえ、ご学習ください。

旧	新
<u>少数株主</u>	<u>非支配株主</u>
<u>少数株主持分</u>	<u>非支配株主持分</u>
<u>少数株主利益</u>	<u>非支配株主利益</u>

2. 第1部 P.124 (1)T工業の取引（例題）

誤
<p>①材料 5,500 円を購入し、代金は現金で支払った。 ②<u>上記の材料のうち</u>、4,800 円を製品製造のために消費した。 ③工場の作業員に賃金 5,200 円を現金で支払った。 ④<u>上記賃金</u> 5,200 円を製品製造のためにすべて消費した。 ⑤経費 2,400 円を現金で支払った。 ⑥上記の経費 2,400 円を製品製造のためにすべて消費した。 ⑦製品が完成した。このとき製品の<u>完成品原価</u>は <u>12,400</u> 円である。 ⑧<u>上記の製品</u>を 18,000 円で販売した。なお、販売はすべて掛けである。 ⑨商品販売の為の営業職員の給料を 600 円、広告宣伝費 1,000 円を現金で支払った。 なお、これらの費用はすべて販売費および一般管理費で処理する。</p>

正
<p>①材料 5,500 円を購入し、代金は現金で支払った。 ②<u>材料のうち</u>、4,800 円を製品製造のために消費した。 ③工場の作業員に賃金 5,200 円を現金で支払った。 ④<u>上記の</u>賃金 5,200 円を製品製造のためにすべて消費した。</p>

- ⑤経費 2,400 円を現金で支払った。
 ⑥上記の経費 2,400 円を製品製造のためにすべて消費した。
 ⑦製品が完成した。このとき製品の当期製品製造原価は 12,800円である。
 ⑧12,400 円分を 18,000 円で販売した。なお、販売はすべて掛けである。
 ⑨商品販売の為の営業職員の給料を 600 円、広告宣伝費 1,000 円を現金で支払った。
 なお、これらの費用はすべて販売費および一般管理費で処理する。

3. 第 1 部 P. 124 (2)T 工業の取引と仕訳との関係 ②材料の消費

誤	正
「② <u>上記の材料のうち</u> 、4,800 円を製品製造のために消費した」とあるため～。	「② <u>材料のうち</u> 、4,800 円を製品製造のために消費した」とあるため～。

4. 第 1 部 P. 125 (2)T 工業の取引と仕訳との関係 ④賃金の消費

誤	正
「④上記賃金 5,200 円を製品製造のためにすべて消費した」とあるため、～。	「④上記の <u>賃金</u> 5,200 円を製品製造のためにすべて消費した」とあるため、～。

5. 第 1 部 P. 125 (2)T 工業の取引と仕訳との関係 ⑦製品の完成

誤	正
「⑦製品が完成した。このとき製品の <u>完成品原価</u> は <u>12,400</u> 円である」という内容にもとづき、～。	「⑦製品が完成した。このとき製品の <u>当期製品製造原価</u> は <u>12,800</u> 円である」という内容にもとづき、～。
【仕訳】 (製品) <u>12,400</u> (仕掛品) <u>12,400</u>	【仕訳】 (製品) <u>12,800</u> (仕掛品) <u>12,800</u>

6. 第 1 部 P. 125 (2)T 工業の取引と仕訳との関係 ⑧製品の販売

誤	正
「⑧ <u>上記の製品</u> を製品 18,000 円で販売した。なお販売はすべて掛けである」という取引から、～。	「⑧ <u>製品 12,400 円分</u> を製品 18,000 円で販売した。なお販売はすべて掛けである」という取引から、～。

以上